



「夢黄櫨染」
奥田祐斎 ×
「画家」
川内麻嗣

「夢黄櫨染」
奥田祐斎 ×
「仏画線描」
象山 (漫画家原哲夫)

太陽の光を宿す日本独自の染「ゆめ こう ろ ぞめ夢黄櫨染」
夢の仏画アート展

象山(原哲夫氏)川内麻嗣が仏画の線描を担当し、
全体の染色を奥田祐斎が「夢黄櫨染(ゆめこうろぞめ)」で
表現する夢のコラボレーション

仏画線描 象山(原哲夫)

象山(しょうざん/原哲夫 1961年生)
漫画家・アーティスト・作詞家 (象山代表)
漫画家として「北斗の拳」「花の慶次」など多数の作品を執筆しているが、
原個人としての芸術活動を「象山(しょうざん)」の雅号で2008年より活動を
開始。二十数年の創作活動で培った精緻な描写力、重厚な筆致を
生かした書画・仏画・仏像彫刻およびファッション、空間デザインなど幅広い
ジャンルで新しい表現に挑戦し続けている。



染色アーティスト 奥田祐斎

嵐山の繊細で柔らかな水を染師「奥田祐斎」は自由
にあやつります。色は水で混ざり合い「調和の
とれた色」を争うことなく無理なく自然に生みだ
していきます。これは四季折々の自然に囲まれた
「日本」の感性だからこそ生まれた「水の染」と祐
斎を感じる所以です。奥田祐斎の染は水が創りだ
す「和」を尊ぶ「美」と言えるのです。平和で調
和のとれた日本の「美」をお楽しみください。

画家 川内麻嗣

1946年 広島県に生まれる。
1967年 京都において作品発表をはじめ。
1975年 第19回シュル美術賞展(三等賞)
神戸製鋼美術賞展(第二席受賞)
1978年 第3回西日本新人ビエンナーレ展(佳作賞)
1980年 第13回東京ビエンナーレ展(佳作賞)
1981年 第15回現代日本美術展(群馬県立近代美術館買上賞)
1982年 ジャパン・アート・フェスティバル選抜展(ロンドン)
1990年 第19回人展(文部大臣賞)
1992年 日本人物画協会会長を務める。

ゆめ
夢

こう
黄

ろ
櫛

ぞめ
染

世界に類例のない日本だけの「光」で「色」が変わる幻の染。

「夢黄櫛染」(こうろぜん)は、嵯峨天皇の時代に開発された色でした。宝石のように輝き、光の質で色が大きく変化します。そして、太陽の光を通した時に現れる、日本の真っ赤な太陽を宿す不思議な染めでした。歴史から「封印」された神秘の染を、染師 奥田祐斎が1200年の悠久の時を超えて「夢黄櫛染」として蘇ることに成功しました。



京都 広隆寺にて
黄櫛染を調査



逆光線で
真っ赤な太陽が輝く



奥田祐斎作品の特徴の一つである太筆による大胆な柄きものの色変化。
左側が通常時の色、右側が強い太陽光にあたった色。

おく だ ゆう さい 奥田 祐斎

染師の源流

私が、生まれ育った紀州熊野は、いまでも神話の時代の自然の生命力が山にも川にも宿っているようなところです。山の緑の濃さにしても、単なる「色」を超えた陰影の強さがある。自然というのは、人間を取り込んでしまうような恐ろしさも、その懐で守ってくれる温かさも、両方持っている。。。子供心に自然への畏れと尊敬を抱いていたような気がします。駆け抜けた林や、くぐりぬけた藪、寝転がった川辺。。。自然そのものが遊び場であり、生活の場でした。川に行ったら魚獲りで遊んで、釣ったのは晩のおかずにして、よいものは売りに行く。山に行ったら、遊びながら山菜や木の実、薪を拾って、それを生活の糧にする。遊んでいても、それは子どもながらに生きるための真剣勝負。そうして自然の与えてくれるものを最大限にもらって育った。肌で触れた自然の息吹きや鼓動が、いつか私の中に入り込み、そして「自然」が私の細胞になったんです。

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 1950年 紀州熊野で紺屋の4代目に生まれる | 2005年 韓国ドラマ「美しき日々」のコンサートの舞台美術を手掛ける |
| 1980年 祐斎染色研究所設立 | 2007年 SONY・ブラビアのCMに登場 |
| 1984年 ジャパンインロッテルダム84 シカゴ祐斎コレクション発表 | 2008年 フランス・ルーヴル装飾美術館で開催された「感性kansei-Japan Design Exhibition」(日本のデザイン展)に、夢黄櫛染が推挙され、出展展示 |
| 1985年 日本文化展(東京プリンスホテル) | 2009年 「奥田祐斎、染の世界」展開催(熊野市文化交流センター) |
| 1986年 香木染(白櫛・伽羅)を発表 | 2010年 旧嵯峨御所 大覚寺門跡へ夢黄櫛染 奉納 |
| 1987年 天然記念物の大賀蓮染を発表
天台烏薬による打掛を制作 | |
| 1992年 夢黄櫛染を発表 | |
| 1997年 日本最古の染500万年前の古木染発表 | |
| 2003年 嵐山祐斎亭設立 | |